

令和元年度 学校評価表

菊池女子高等学校

学校教育目標	各科の目標	今年度の重点目標
1 質素、忍耐、規律、思いやりを基軸とし、知性、学識、健康、道義、友情の形成を高揚する。 2 課程の如何を問わず、常時一人もれなく学習生活の目標をもった生徒の教育を遂行する。 3 その他常に顧みて創立の精神に徹した教育を実践する。	普通科 一般コース 1, 一般的県立普通高校と同一の普通教科の履修。 2, 体育、文化面等に思い切り個性を伸ばし、幅広く楽しい高校生活の創造。 3, 事務系、実技系、あらゆる企業への完全就職。 4, 短大の推薦入学や、准看、美容、調理師等の国家資格取得校への進学。 5, 礼儀正しく、節度ある良識人の育成。	○地域間交流 ○世代間交流 ○国際受信・発信 ○eトレでのレベルにあった学習支援 ○私学ならではの個性を引き出す教育 ○自分の居場所をつくれる環境の整備 ○地域活動・地域貢献できる人材を育成 ○A I にできない人間力の育成
	普通科 進学コース 1, 4年生大学、入試の厳しい高看、短大等への進学生であることの自覚と決意の継続。 2, 目標大学及びその受験科目を早期に自主決定すること。 3, 希望校への受験勉強に青春の情熱の一切を賭ける。(家庭学習5時間の確保) 4, 不断的努力と忍耐の成果として、確実に目標大学に合格する。 5, 日々の思索や学習態度を通じ将来、幅広い高度な人生を創造できる人材となる。	
	家庭科 被服コース 1, 被服全般に関する広い知識を身につける。 2, 被服製作の技術を確実に身につける。 3, 被服関連企業への就職又は、技術自営の出来る技能者となる。 4, 女性としての良識を備え、豊かな家庭生活を支える人材となる。	
	社会福祉科 1, 先ず、福祉の心、人間としての真の優しさを養う。 2, 福祉看護の基礎知識、基礎技術を身につける。 3, 介護福祉士の国家資格をとる。 4, 福祉・医療系の上級学校への進学。福祉関係職場に就職する。 5, 将来、福祉社会を支える人材となる。	
		※目標に対し、意識的に取り組んだものに○をつけてください。

A・・・よくできた B・・・できた C・・・あまりできなかった D・・・できなかった

評価項目	大項目	小項目	具体的目標	具体的な取組計画・内容	評価	成果	課題
学習指導	学習指導	学習習慣の確立	授業に積極的に取り組む姿勢を身につけさせることができた	B	<ul style="list-style-type: none"> ・おおむね積極的に取り組んだ ・1対1の対応をできる限り増やした ・各時間ごとにノート提出など行い評価を行った ・目標設定が明確にでき ・授業中の発言が多くなった ・レベルに合わせた授業ができた 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に興味を持たせる ・年間を通して計画的に進めていく ・チャイムと同時に始められない時・クラスがある ・自主的学力向上に結び付ける ・発言の少ない生徒への対応 	
			eトレなどを利用し自主的な家庭学習に通じる効果的な課題が提示できた	C	<ul style="list-style-type: none"> ・レベルに合った学習支援 ・課題生に対してはよく活用した 	<ul style="list-style-type: none"> ・eトレをする生徒が少なかった ・指導時間を設ける ・課題、宿題としての利用 ・活用できなかったので週一取り組む時間を設ける ・生徒が自分で課題を選ぶシステム 	
		学力の向上	生徒の学力を把握しそれに応じて丁寧に指導することができた	B	<ul style="list-style-type: none"> ・課題等で個別指導をした ・個々の学力に応じた学習指導がされている ・実状に応じ目で見える授業を増やした ・一人ひとりの伸びを感じた ・生徒同士で教えあう環境ができた 	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別の指導が必要 ・私語、居眠り等があった ・eトレ・テラトークの活用工夫・改善 ・レベルの差がありすぎる ・さらなる学力アップを目指す ・個別に時間をとる必要がある 	
		授業の工夫	生徒に興味関心を持たせ学習意欲を高めることができた	B	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ?と思えるような働きかけをした ・授業の充実は生徒のやる気につながる ・調べ学習が有効であった ・提出物の状況がよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の工夫・道具の購入 ・ICTの活用法 ・教材研究があまりできないこともある ・ばらつきをなくするための工夫が必要 ・実験に取り組む 	
			わかりやすい授業を行い、生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導に取り組むことができた	B	<ul style="list-style-type: none"> ・机間巡視で声掛けやノートを見た ・なるべく横について指導するようにした ・個々の生徒のレベルの把握ができた ・質問者が多く適切に指導できた 	<ul style="list-style-type: none"> ・eトレでレベルアップ ・生徒の私語や居眠り ・道具を充実させた ・レベルの高い生徒への対応 ・指導時間の確保 ・教え合いの時間をとる ・ICTやネット教材の活用 	
		教員の資質向上	教材研究が意欲的かつ積極的に行われた	C	<ul style="list-style-type: none"> ・概ねできた ・研究発表を行ったので非常に良い勉強になった ・毎年新しい展開ができていく ・研究材料が少なめであった ・授業スライドの工夫を行った ・様々な参考書など活用した 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間が取れなかった ・マンネリ化しているので工夫が必要 ・時間が足りない ・研究教材を増やす ・動画・画像の利用 	
		研修や意見交換などを通じて切磋琢磨できた	C	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換ができなかった ・研修内容を共有し、意見交換できたが、新しい開発は共有できなかった ・県の先生方と意見交換ができた。井の中の蛙にならないよう意識をし、外へ出ることも大事 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業研究を行う ・意見交換の時間を持つ 		
	進路指導	自己理解	自らの個性に向き合い、自己理解を深めているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解を深めながら進路指導ができた ・探求心興味関心を持って励んだ ・自己と向き合う環境が整っている ・個々に対する指導不足 ・1年の振り返るシートを作った 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒との対話の時間を持つ ・目標設定確認やワークシートをこまめに行う 	
			自らの長所・短所について自覚を持って行動し、それに基づいて将来を構想している	B	<ul style="list-style-type: none"> ・対話を通して長所・短所を理解することができた ・短所について頼る・任せる・ともに補い合う姿勢が大切だと感じた 	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い指導に心がける 	
		キャリア教育	職業観や労働観は育まれているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・1・2年生でのキャリア教育は役に立っている ・教科を引用できた 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを表現しにくい時がある ・アルバイト生の許可申請問題 ・内容を深める ・個人で調べる能力を身につけさせたい 	
自らの人生を真剣に考え、どのような職業につくべきかを考察できている			B	<ul style="list-style-type: none"> ・将来を見据え手に職をつけられる分野を考えることができた ・今の状況で何ができるかしか考える余裕がない ・教科の特性を踏まえて指導ができた 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を確保する ・個人で調べる能力を身につけさせたい ・進路ガイダンスを行った後の振り返りが必要 		
	インターンシップ等の取り組みができた	D	<ul style="list-style-type: none"> ・実施できていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・Sは充実しているが、FKは課題もある ・実施できていないのでまずは計画が必要 			
	校外模試や検定試験を積極的に活用しているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・Sの生徒は福祉に関する学習は行いが他の模試や検定は受けたがらない ・積極的に取り組めた 	<ul style="list-style-type: none"> ・進学指導の強化 ・S B生が多いため土日に登校するのが難しい 			

生徒の指導	受験への対応策	各学年に応じた小論文対策は計画的になされているか	C	・しているようだが目に見えてこない ・2年生で1回校外模試を行った	・3年夏休み以降の進路変更に対応できるよう1年次からの取り組みが必要 ・文章を書く指導ができていないため書く練習をしたほうがよい ・小論文対策のため全職員が研修を受ける	
		面接に必要なコミュニケーション能力・一般的な知識・論理的思考力は向上している	B	・面接練習を通して自分を知ることができた ・eトレ等の実施による ・日常生活で身につける	・講習をもっと増やす	
	進路情報の提供	進路ガイダンス等の行事は有効に機能しているか	B	・年間行事で機能している ・学年でまとまってよくできた ・3年生の進路状況がよい	・外部からのガイダンスは意識づけに有効	
		進路情報を必要な時期に生徒・保護者に発信できている	B	・随時できていた ・面談等何度も繰り返し行った ・教務・進路指導部と協力している	・課題のある生徒や家庭についてはS S Wなどを入れて念入りに行う ・継続した取り組みが必要	
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	欠席・遅刻・早退の理由を把握して適切な指導が来ている	B	・3学期が崩れてしまった ・創立以来実施し、指導に生かされている ・その日に保護者に確認をとっている	・3年生の家庭学習期間は要注意 ・諸届帳の早期提出	
		身だしなみについて日常的に意識させることが来ている	B	・クラスに関わらず意識させることができた ・言えば正すことができた ・目立つ服装の乱れはほとんどない ・服装違反者が少ない ・朝のHRで服装確認	・継続した取り組みが必要 ・引き続き声掛けしていく	
	安心安全な環境づくり	学校生活の諸活動の場面で生徒の変化に気づき適切な対応を図っている	B	・保護者と連絡を密にし気付くよう努力した ・対応はしているが自信はない ・十分ではないが対応力が高い ・朝礼や学年会などで意見交換をしている	・教師間で統一した指導を行う ・情報の共有を目指す	
		様々な不安や悩みを抱える生徒に対し親身に対応が来ている	A	・各部署と情報を共有しながら対応ができた ・保護者と連絡を密にし気付くよう努力した ・自分のクラスは対応できた ・カウンセリングなど行われていた ・スクールカウンセラーの利用	・S C・S S Wの利用	
		学校は人権教育の推進に力を入れ、いじめのない環境づくりを行っている	B	・クラスに関わらず全体的にできている ・自分のクラスでは大きなトラブルはなかった ・各学年人権学習を実施した	・小さな芽を摘む努力をしていく	
		講習会を実施し、インターネットやSNSなどの危険性を理解させている	B	・講習会により啓発できており、HR等でもできた ・回数的には充実していた ・外部講師に依頼している	・子ども達の世界は見えにくいのでアンテナをしっかりと張る必要がある	
		避難訓練を実施するなど、日頃から防災意識を高めることができてきている	B	・今年度は職員の救急法研修を実施できた ・訓練の実施は適切だった ・マニュアルを作成し実施できた	・不審者対応について職員研修を行う必要がある	
		全職員が学年や係等のそれぞれの立場で連携をとり生徒指導にあたっているか	B	・学年協力し個々の生徒指導に当たられていた ・必要な役割に応じ学年の枠を超え対応している ・その場その場で指導を心掛けた ・いろいろな役割の先生で助け合っている ・問題行動が減少した	・職員間の温度差をなくす	
	課外活動	生徒会活動	生徒の自主的・主体的活動を促すような指導が来ている	B	・生徒主導で取り組んでいた ・生徒会が率先して動いていた	・生徒発案が足りないため意見交換の場を設ける ・生徒主体の活動にシフトする必要がある
			体育祭や学園祭など生徒会を中心に準備、運営、協力を尽くせるような指導が来ている	B	・生徒会を中心に良く取り組みことができた ・生徒会を中心に各クラス工夫を凝らし行事に取り組んだ ・生徒がよく協力してくれた ・食パザーでの活気	・一部の生徒に集中しないようにする
		部活動など	部活動や同好会活動に積極的に参加している	B	・地域のイベントなど積極的に参加し生徒が取り組めた(茶道部) ・二極化している ・生徒数からすると加入率は高い ・やや不足している	・活動する場がない
			教職員は部活動の推進と技術向上のため積極的に指導に取り組んでいる	B	・外部講師の先生とスケジュール調整し技術を教えていただいた(茶道部) ・それぞれ役割に応じてできている ・研究心をもって日々取り組んでいる。責任をもって自己研鑽に努めたい ・指導者の下頑張っている	・責任をもって自己研鑽に努めたい
教職員はハラスメントや体罰に気をつけ指導にあたっている			A	・体罰もなく指導に当たっている ・注意して対応している ・指導の工夫、教師としてのスキルが試される時代だと思う	・外部指導者への徹底が必要	
学校は勉強と部活の両立に配慮している	A	・試験前一週間の部活動停止など配慮されている ・両立をモットーとしているが生徒の質の変化が気になる。	・テスト前の部活動休みが短くなってしまう			
		学校行事への招待など積極的な世代間交流・地域間交流が来ている	A	・きくち女子舞で地域間交流ができた ・近隣のチラシ配布などよくできている ・きくち女子舞が好評 ・幅広い年齢層との交流ができた ・毎年行っている高齢者さわやか大学は好評である	・きくち女子舞というネーミングが気になる	

学校運営	家庭・地域との連携	魅力ある開かれた学校づくり	学校行事や授業を通し、国際受信・発信ができた	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTの派遣により国際交流ができた ・ALTの授業が活発に行われた ・武漢へのメッセージなどよかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・剣道で世界とつながりたい
			ホームページ・赤レンガ・安心メール・学級・学年通信を通して各種情報を生徒、保護者、外部に発信できた	A	<ul style="list-style-type: none"> ・安心メールで見られるようになってよかった ・安心メールの活用が幅広くできた ・ファイル添付ができるようになったのでよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりもしかり目を通してもらえるよう工夫が必要 ・学級通信を出せるようにしていきたい
			地域の資源を生かしながら地域貢献ができた。また、地域の資源を生かした活動ができた	A	<ul style="list-style-type: none"> ・菊を育てるなどしていた ・キクロスを十分に利用させていただいた ・菊池のPR活動を行った ・貢献度は高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・例えばどんなものがあるのかを共有する場が必要
			学校と保護者教育委員会、同窓会の連携は円滑に機能している	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者さんが協力的でよかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・同窓会との連携 ・同窓会が機能するよう働きかけが必要
理事長による所見		本校らしさを出した魅力ある開かれた学校づくりへの取り組みを行うことができている。前年度課題の反省をもとにした改善の具体的な取り組みを実践していくことが必要。少人数ながら職員・生徒、たくさんの方にチャレンジし、よく頑張った一年であった。				